



安曇野市市民活動サポートセンター（安曇野市市民生活部地域づくり課内） 発行

【特集】 コロナ禍の中での市民活動

今や欠かせなくなったマスク、「3つの密」を作らない、ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス(以下、コロナ)の影響で私たちの生活は大きく変わりました。大勢で集まって一緒に何かするという、以前は当たり前になっていたことができないということは、市民活動に大きな影を落としています。

しかし収束のめどが全く立たない中、コロナへの感染に注意しながら、何らかの形で活動を続ける動きが高まっています。

今回はコロナ禍での市民活動について、どのような向き合い方があるのか、取り上げていきます。

コロナに関連する困りごと・アイデア ～市民活動座談会の報告～

9月5日(土) ■主催 市民活動サポートセンター

■場所 豊科交流学習センター きぼう

コロナにまつわる悩みや市民活動を続けるアイデアを共有し、情報交換をし合うため、市民活動座談会を開催しました。

◆ コロナ禍で感じたこと・困っていること

- ・施設の利用可能人数の制限が厳しくなり、活動がどうしても制限されてしまう。人との繋がりも制限されていると感じる。
- ・判断基準があいまいであるため、中止とせざるを得ないところがある。無茶をしないように止めることも必要だが、嫌われ役になる。
- ・オンライン会議を実施してみたが、実際に会って行う会議とは違う所があり、進め方に不安を覚えた。オンラインでの進め方も学びたい。
- ・オンラインを使った遠隔授業を進める好機だととらえている。
- ・参加を呼びかけようにも、活動再開を受け入れてくれない部分もあり、苦慮している。コロナは収束しないので、体制を整え、できることから取り組んでいきたい。
- ・消毒ボランティアなど、必要とされる新しいことを始めた。



「いいな安曇野花サロン」の皆さんにご協力いただき、開始前に廻り花を体験しました🌸



こちょこちょの会
講演会の様子

◆ 対策の事例

- ・先日講演会を開催したが、人との距離を保つために、あいうえお順で受付場所をずらしたり、レジャーシートを持参してもらい自然と距離が取れるようにした。また、換気に気を使い、講師にはフェイスシールドを着用していただいた。 【こちょこちょの会】
- ・保健所に相談し正しい情報を得て、除菌・消毒対策を徹底的に行っている。またそれを文章にしてスタッフで共有している。他にもオンラインヨガを開催したり、会場でのヨガに切り替えたりと、工夫しながら活動を続けている。 【NPO法人 ぱおぱお】

With コロナ時代に役立つ情報・事例集

市民活動座談会の中でお伝えした、活動のヒントとなる情報をご紹介します！



情報の収集

* まずは正しい情報を定期的に得て、デマや周囲に流されず、正しく恐れて対策を行うことが大切ではないでしょうか。情報収集に役立つサイトをご紹介します。

◇ 長野県新型コロナウイルス対策総合サイト

→県独自の警戒レベルを設定して警戒を呼びかけ、感染拡大防止策を紹介しています。また、SNSを活用した情報の発信を積極的に行っています。

★LINE 公式アカウント「長野県-新型コロナ対策パーソナルサポート」

LINEで友だち登録をすると、自動的に通知され、情報が入ってきます。自分の状態に合わせた新型コロナウイルス感染症に関する情報や県内の感染者発生状況をリアルタイムで知ることができます。

★twitter 長野県_新型コロナウイルス対策情報

県内の感染状況はもちろん、感染対策の解説や県が行う支援策が画像や動画で日々更新されています。

市民活動サポートセンターのホームページでは、さらに詳しい内容や各サイトへのリンクを掲載しています。



オンラインの活用

*「オンラインセミナーやミーティングってよく聞くけど使い方がわからない…」という方や、「これを機に動画を撮って発信してみたいけど自分たちでもできるの…?」という方に役立つサイトがあります。

◇ 千曲市みんなのまち応援サイト

(管理・運営：NPO 法人 エリアネット更埴)

→Zoom という、よく使われるオンラインミーティングアプリの使い方や YouTube という動画サイトへのアップロードの仕方を事細かに紹介した動画が掲載されています。



オンラインセミナー

*コロナの影響により、オンラインで参加できるセミナーが多く開催されるようになりました。これまで会場が遠くて参加が難しかったセミナーを自宅で受講するチャンスが広がっています！

◇ NPO・NGOのためのウェビナー & オンラインイベントポータルサイト

(主催者：NPO ウェビナー普及委員会)

→NPO や地域組織、ボランティア組織に関わる方を対象にしたオンラインセミナーやイベントがまとめて紹介されています。主催イベントを無料で掲載することもできます。



活動ガイドラインの作成

* 現在、政府がまとめている業種別ガイドラインをはじめ、様々なコロナ対策のガイドラインがあります。その中から市民活動の参考になるものをご紹介します。

◇ 「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」

〈東京都健康長寿医療センター〉

→通いの場(地域のサロンなど)の再開に向けた住民向けの実践の手引きとして発行されたものです。開催に向けての準備段階や当日に注意すべきことが、場面に分けてとても細かく紹介されています。感染対策だけでなく、活動再開に向けて運営側が考えると良いポイントも紹介されています。

自らの団体でもガイドラインを作成しておくと、基準がはっきりし、参加者側に安心感を与えることに繋がります。

〈作成のポイント〉

- ・活動の目的を再確認し、新たな方法も含めて、できる形を考える。
- ・活動を振り返り何がリスクか考え、“やらないこと”もみんなて決める。等々

◇ 「新型コロナウイルス感染症に気を付けて通いの場を開催するための留意点」

〈厚生労働省〉

→通いの場を運営する方向けのリーフレットや参加者向けに貼り出すことができるリーフレットが公表されています。

【報告】まちむら寄り添いファシリテーター養成講座 修了生ミーティング

8月21日(金)

■主催 長野県企画振興部 地域振興課

■場所 オンライン

コロナの感染拡大で地域での活動が影響を受けている状況のなか、長野県まちむら寄り添いファシリテーター養成講座修了生が近況を共有し、現状とこれからを考えるオンラインミーティングが開催されました。県内各地で、様々な立場で活躍している方々、県の関係者など40名近いメンバーが集いました。市内からは3名が参加しました。

オンラインでの会議に不慣れな方、慣れた方など様々でしたが話題が進むに従って違和感なく意見交換ができました。慣れていない方はお手製のプラカードを数個用意して会議を盛り上げていました。チャットや画面共有、小さなグループに分かれて個別のミーティングを行うブレイクアウトルームなどの機能を駆使して円滑に運営され、対面での会議とは違う方法でコミュニケーションを図ることができ、オンラインのメリットを実感しました。

コロナの中での市民活動

意見交換に先立って講師の広石拓司さん(株式会社エンパブリック代表取締役)からミニ講義があり、コロナ禍で孤立しないためには、こころの距離を広げないように日頃から周囲とつながりを保つようにすることが必要だとのことでした。そんなアドバイスも含めて熱心な情報交換がありました。そのなかで、地域コミュニティーは「世帯(戸主が代表)」で構成される原則だが、オンラインミーティングを開催したところ、参加者の幅が広がり、親子で参加して「個人」としての発言もあって、新たな形ができたとの報告は参考になりました。

今までに経験したことのない環境下であの手この手と工夫しながらメンバーが地域の活動を続けていることに心を強くし、健闘を称えるエールを交換してミーティングを終えました。 【市民活動サポーター】



参加者募集

まちむら寄り添いファシリテーター養成講座

オンライン対話を活用し、地域のつながりを守り、共に未来を考える新しい交流・活動のカタチを生み出そう。

公開講座 「変化と不確かさの中で、つながりを守り、持続可能な地域を実現していくには？」

- ・日時 9月19日(土) 14:00~16:30
- ・方法 オンライン
- ・申込 9月17日(木) まで

【主催・問い合わせ・申込】

長野県 企画振興部 地域振興課 ☎026-235-7021

* 詳細は特設ページへ nagano-machimura.net

連続講座 「新しい地域交流・活動のカタチの作り方」

<実践を通して学び、共に考える>

- ・日時 10月18日(日) から全7回
- ・方法 オンライン
- ・対象 長野県内で地域づくり活動の実践を行える人(定員 40人)
- ・申込 10月9日(金) まで

まちむら寄り添いファシリテーター養成講座とは…

10年後、20年後に向けて持続可能な地域づくりを目指し、自分たちの地域の価値や可能性、課題を捉えなおし、住民が主体となった活動の芽を産み育てる「対話を通じた学びの場」を、地域住民の方々と共に一つ一つつくっていく方法を、座学と実践活動を組み合わせて学びます。

i 情報コーナー

*新型コロナウイルスの感染状況によっては中止または縮小となる場合があります。
 詳細はお問い合わせ先へご連絡ください。
 *市民活動サポートセンターホームページでより詳しい情報を掲載しています。

あづみの市民活動フェスタ出展団体募集

- 市民活動団体等の活動を広く発信する市民活動フェスタへの出展団体を募集します。
- ◆期日・場所
 11月11日(水)～22日(日)/市役所本庁舎1階 東ロビー
 11月29日(日)～12月13日(日)/穂高交流学习センター 一みらい 展示スペース
 - ◆内容 ①活動を紹介するパネル等の展示
 ②ワークショップ、活動体験等のブース出展
 - ◆募集期間 第1次受付：9月29日(火)まで
 第2次受付：10月19日(月)まで
 - ◆その他 詳細はホームページをご覧ください。
 - ◆問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター

企画展「五つの心をひとつに」

- 安曇野市15年の歩みを、市民との協働に焦点をあてて紹介する企画展です。公文書に関する講演会や、協働のまちづくりの取り組みの変遷を考える講習会も併せて開催されます。
- ◆期間 9月6日(日)～12月28日(月)
 - ◆場所 安曇野市文書館1階閲覧コーナー
 *開館時間 9:00～17:00
 *休館日 土曜日、祝日
 <10月6日～9日は臨時休館>
 - ◆費用 無料
 - ◆問い合わせ 安曇野市文書館 電話：71-5123

持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方

- 持続可能な開発のための教育の考え方や、具体的な方策であるSDGsの内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、私たちが「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。
- ◆日時 10月20日(火)
 - ◆場所 長野県生涯学習推進センター 講堂
 - ◆テーマ ESD/SDGsが育むつながりと持続可能な社会
 - ◆講師 信州大学学術研究院 准教授 安達 仁美 氏
 - ◆参加費 無料
 - ◆申込 10月13日(火)までにFAX、メール又は郵送
 - ◆問い合わせ 長野県生涯学習推進センター 電話:53-8822

J-Coin 基金

- ◆助成内容 新型コロナウイルス感染症対策に関する、以下の4つの分野での事業活動
 ①医療機関・医療関係者への支援
 ②子ども、生活困窮者、障害者等の社会的弱者への支援
 ③生活困窮し学業の継続に困難をきたしている学生への支援
 ④地域社会、地域活性化への支援
- ◆助成期間 決定から令和3年3月31日までの間
- ◆助成金額 上限300万円
- ◆募集期間 令和2年9月29日(火)まで
- ◆運営団体 公益財団法人 パブリックリソース財団

子供の未来応援基金

- ◆助成対象 ①社会福祉の振興に寄与する事業を行う、営利を目的としない法人や団体
 ②設立や事業開始後概ね5年以内の利益を目的としない法人や団体
- ◆助成内容 学びの支援 / 居場所の提供・相談支援 / 衣食住など生活の支援 / 児童または保護者の就労支援 / 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援
- ◆助成期間 令和3年度
- ◆助成金額 ①上限300万円 ②30万円又は100万円
- ◆募集期間 令和2年10月2日(金)まで
- ◆運営団体 (独)福祉医療機構 NPO リソースセンター

編集担当のつぶやき

最近オンラインセミナーやオンライン会議に立て続けに出席する機会がありました。何となく「難しそう」「よくわからん」というイメージで抵抗があったのですが、参加してみると意外とオンラインでもなんとかなるんだなあという感想を抱きました。

大学1年のときに「インターネット上で商品注文するなんてありえない！実物見ないで何で買えるの？個人情報漏洩とか不安じゃないの？」って思っていたのに、一年後にはAmazonや楽天を使いまくるようになったことを思い出しました。だんだんと適応していくものですね。

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催しに、市民活動サポートセンター職員や市民活動サポーターが取材に伺う場合もあります。活動のPRにご活用ください。

安曇野市市民活動サポートセンター

住所 〒399-8281 安曇野市豊科6000番地
 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課窓口
 電話 0263-71-2013 FAX 0263-72-3176
 メール kururin@city.azumino.nagano.jp

開庁時間 午前8時30分～午後5時15分
 休業日 毎週土・日曜日、祝日
 年末年始 12月29日～1月3日

ホームページ <https://www.city.azumino.nagano.jp/site/azumino-sk/>

